

(A02-4) 超ストレス環境・宇宙を見据えた新規睡眠覚醒制御手法の開発

研究代表者 長瀬 博

筑波大学・国際統合睡眠医科学研究機構 教授

平成28年2月24日(水) ～ 平成28年2月27日(土)

平成 27 年度に、共同研究打ち合わせおよびセミナー・シンポジウム登壇のため、以下の外国人研究者を招聘した。

招聘者: Seung-Hee Lee 氏 (Assistant Professor / Principal Investigator, Department of Biological Sciences, Korea Advanced Institute of Science and Technology)

招聘場所: 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIIS)

2月25日

IIIS 構成員ら約 70 名が参加した第 74 回 IIIS セミナーに登壇していただき、議論と情報交換を行なった。

講演タイトル: Neural circuits for sensory processing, integration, and modulation



セミナー後に IIIS 若手主任研究者の林悠と、認知行動における神経ペプチドの役割解明を目指す共同研究についての具体的な打ち合わせを行ない、またその他 10 名の主任研究者ら(柳沢正史、長瀬博、佐藤誠、Kaspar Vogt、坂口昌徳、裏出良博、Michael Lazarus、Qinghua Liu、船戸弘正)と各 30 分間集中的に面談し、将来的な共同研究の可能性を探った。

2月26日

第 4 回 IIIS 国際シンポジウムにおいて講演していただいた。

講演タイトル: A neural circuit for auditory dominance on visual perception

Lee 氏のほか、国内外から 10 名の著名な講演者を招待し、約 180 名がディスカッションおよび聴講者として参加し大盛況であった。



写真 2. シンポジウムの様子

参考 URL:

<http://wpi-iiis.tsukuba.ac.jp/japanese/wp-content/uploads/sites/2/2016/02/seminar74.pdf>

<http://wpi-iiis.tsukuba.ac.jp/japanese/registration/69>